### 岡山県

# せいきよう道会報



#### **CONTENTS**

- 1 会長理事
- 2 岡山県知事
- 3 岡山県議会議長
- 4~5 県議会会派代表のみなさま
- 6~8 各界の方々
- 9~10 副知事、議員、行政担当部署と懇談し 情報提供や意見交換を行いました。
  - 11 協同組合間の連携を進めました。
- 12~14 会員生協の組合員、役員・職員が 交流し、学びました。
- 15~16 岡山県消団連、NPO消費者ネットおかやまとともに
- 17~19 会員生協トピックス
- 20~22 会員生協紹介
  - 23 岡山県生協連紹介





#### 

新年あけましておめでとうございます。

行政並びに友誼団体のみなさまにおかれまして は、日頃から当生協連に対しまして、ご指導、ご支 援を賜り、心からお礼を申し上げます。

会員生協のみなさまには、暮らしと健康、いのちを守り、安心して暮らすことができる地域社会の実現のためにご奮闘されていますことに心より敬意を表します。

昨年も豪雨や台風による自然災害が発生し各地で 被害をもたらしました。被災された皆様に心よりお 見舞い申し上げます。一昨年の熊本地震による被災 者の方々の生活再建は始まったばかりとなってお り、東日本大震災による被災者の方々への支援も含 めて引き続きお願い致します。

くらしをめぐって、企業業績は引き続き好調を維持し、雇用環境も大きく改善しているものの、私たちにとって景気回復の実感は乏しく、賃金の伸び悩み、税や社会保障などの負担増等、将来への不安も含めて、消費の低迷が続いています。また、貧困と格差の問題は、高齢者から若者まで拡大しており、引き続き対策や必要な支援が求められています。

平和の問題では、昨年7月に核兵器禁止条約が122カ国の賛成で採択され、また核兵器禁止条約の採択に尽力したICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)に対してノーベル平和賞が授与されるなど新たな道筋が作られた一年となりました。

## 新年のご

県生協連として引き続き被爆者の方々と連帯しながら「ヒバクシャ国際署名」の取り組みを拡げていきたいと思います。

少子高齢化、人口急減社会が進み、特に 2020年代から急激な変化がはじまり、1人暮らし世帯の増加や介護問題、地方のインフラ機能 の維持、財政問題など、経済社会全般に大きな影響を与えることが懸念されています。厚生労働省 は、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」と して参加し、人と人、人と資源が世代や分野を超 えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとり の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社 会として「地域共生社会」の実現を提起しています。

必要な社会保障制度を充実していくことと同時に、地域共生社会の実現は、私たちにとっても重要なテーマであり、生協としても大切な課題となります。

会員生協では、行政との見守り協定の締結や居場所づくり、健康づくりなど地域社会との関わりや取り組みが大きく広がってきています。また、医療生協が中心になり進めましたヘルスチャレンジは、1万人を超える取り組みとなり、厚生労働省スマート・ライフプロジェクト「第6回健康寿命をのばそう!アワード」にて、厚生労働省健康局長優良賞を受賞することが出来ました。

引き続き行政や他団体、協同組合間の連携を強め、地域社会づくりや地域包括ケアの構築にむけ、 会員生協とともに取り組みを進めていきます。

最後になりますが、皆様にとりまして、この1 年が実りある1年となりますことを祈念致しまして、挨拶とさせて頂きます。今年もどうかよろし くお願い致します。

## あいさつ



#### すべての県民が明るい笑顔で暮らす 「生き活き岡山」を目指して



**伊原木 隆 太** 

新年あけましておめでとうございます。

年頭に当たり、岡山県生活協同組合連合会の 皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上 げます。

昨年は、新たな県政推進の羅針盤である「新晴れの国おかやま生き活きプラン」をスタートさせ、本県発展の好循環のエンジンとなる「教育県岡山の復活」と「産業の振興」に加え、おかやま創生実現の加速に向けた取り組みなどを中心にさまざまな施策を推進してまいりました。

教育の再生については、昨年の全国学力・学習状況調査において、小学生の平均正答率が初めて全国平均を上回るなど成果が表れてきており、今後も、目標を高く持ちながら、教師の教える技術の向上と子どもの学習習慣の定着、子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備などにより、さらなる学力向上を図っていくとともに、グローバル人材の育成に向けて、留学促進に関する施策などにも積極的に取り組んでまいります。

産業の振興については、新たな企業立地が相次いで実現するなど、着実に成果を挙げており、引き続き、戦略的な企業誘致の推進や中小企業等の稼ぐ力の強化に努めてまいります。

そして、喫緊の課題である人口減少問題の克

服をはじめ、本県が持続的に発展するための経済力の確保や地域活力の維持に向け、市町村、企業、NPOなど多様な主体と連携し、結婚支援システム「おかやま縁むすびネット」による男女の出会いの場の創出や働き方改革等による出産・子育てしやすい環境の整備、移住・定住の促進など、「おかやま創生推進連携プロジェクト」に掲げている施策に総力を挙げて取り組んでまいります。

今年は、3月に岡山空港が開港30周年、4月には瀬戸大橋が開通30周年を迎える節目の年です。これを契機に、岡山空港については、県民の皆さまをはじめ、国内外から幅広く親しまれる空港となるよう取り組むとともに、瀬戸大橋についても、その利便性や観光資源としての価値を改めて実感していただき、一層の利用促進を図ってまいります。

新プランの下、引き続き、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現に向け、本県発展に向けた好循環の流れをさらに大きく確かなものとし、県民の皆さまに、「岡山はよくなった、岡山に住んでいてよかった」と実感していただける県政を力強く推し進めてまいりますので、皆さまにはご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



## 新年のご

#### 岡山県議会議長



□山県議会議長 **伊 藤 文 夫** 

平成30年の年頭に当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

県民の皆様には、新春を清々しくお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

私ども岡山県議会は、住民に身近な県議会を 目指し、公明正大な議会運営にあたっておりま す。また、県民の皆様から直接選挙で選ばれる 二元代表制のもと、行政に対するチェック機能 を果たすとともに、県政における最終的な意思 決定機関としての役割を担い、県民福祉の向上 と県勢の発展のため邁進しているところです。

今日、我が国においては、超高齢社会を迎えるとともに、かつてない人口減少の時代を迎え、地域経済の衰退や地域の活力低下が危惧されております。こうした中、地域の持続的な発展を目指す「地方創生」に向けた動きが全国各地で本格化しており、本県においても「おかやま創生総合戦略」にもとづく取組が進められているところです。

今後、一層進む社会構造の変化に対応しなが ら、本県の有する魅力や優位性、財産を最大限 活用し、より一層の発展へとつなげていくために は、私ども県議会が、県内各地からの声を余す ことなく県政にお届けするとともに、県民の皆様 や企業、団体と一体となって、各種施策の実現 に向けた取組を進めていくことが、強く求められています。

こうした皆様のご期待に応えるため、私ども 県議会は、本年も、議員一同、多岐にわたる県 政の課題を正面から見据えて、積極果敢にチャ レンジしてまいる所存ですので、引き続き、お力 添えをお願い申し上げます。

さて、昨年12月に瀬戸大橋が日本の20世 紀遺産20選に選定されました。今回の選定は、 道路鉄道併用橋である瀬戸大橋の建設に際し用 いられた高い技術が、世界に誇る価値を有する ものと認められた結果であります。挑戦をいとわ ず、建設を成し遂げられた技術者の皆様のご努 力に思いをいたすとともに、大変喜ばしく感じる ところです。折しも本年、瀬戸大橋は開通から 30周年、岡山空港も開港から30周年を迎えま す。瀬戸大橋と岡山空港は、岡山の誇る県民共 有の貴重な資産であり、そうした資産を守り、次 の世代に引き継いでいくことこそが、我々に課せ られた責務であるとの思いをあらためて強くする 次第です。

結びに、新しい年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう、併せて、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

## あいさつ

#### 会派代表のみなさま



自由民主党岡山県議団 団長 小 田 丰

新年明けましておめでとうございます。 岡山県生活協同組合連合会の皆様には、

よき初春をお迎えのこととお喜び申し上げ ます。

皆様方には「人と人とがつながり、笑顔 があふれ、信頼が広がる新しい社会の実 現」を2020年ビジョンとして掲げられ、 様々な事業展開と幅広い活動により、県民 の生活の安定と生活文化の向上に努めら れ、心から厚く御礼を申し上げます。

さて、平成があと1年4ヶ月で終わり、 新時代が到来する事が決定されました。

日本も地域社会もさらに大きな変革期を 迎えるなか、私ども自由民主党岡山県議団 は、これまで以上に県民の声に耳を傾け、 夢と希望と活力あふれる郷土岡山県づくり に全力を傾注する決意であります。格別の ご理解とご協力を賜りますようお願いいた します。

ところで、企業活動の向上にともない、 県内の有効求人倍率は上昇しております。 一方少子高齢化も進行中です。人口減少 に耐え得る社会づくり、すなわち地方創生 に向けて、国、地方、官民が一体となって 取り組んでいかねばなりません。

貴連合会は、自治体との地域見守り協定 の締結をはじめ、地域のネットワークづく りに取り組まれ、このことは地方創生に大 きな力を発揮されるものと期待されていま す。引き続き、地域社会の暮らしを守り、 支える助け合いの組織として、ご尽力いた だきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴連合会の益々の ご発展と、皆様方のご健勝とご多幸をお祈 り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただ きます。



民主・県民クラブ 団長

高 原 俊 彦 新年明けましておめでとうございます。

県民の生活の安定と生活文化の向上に取 り組んでいらっしゃる皆様に、心より敬意を表 します。

昨年末には我々県議会議員との意見交換 の機会を設けていただき、ありがとうございま した。

今春は介護報酬・医療報酬の同時改定、 障害者の自立支援給付費の改定、国民健康 保険の広域化など、私たちを取り巻く社会保 障環境が大きく変わる年になりそうです。

少子・高齢化が進む我が国では、社会保 障費が増える一方で労働力人口が減り、支援 が必要な皆さんをいかに支えていくのか大き な課題ですが、今回の制度改正でも残念な がら「公助」による大きな改善は期待できそ うにありません。

さらに、総人口そのものが漸減傾向にある なかでも、世帯数は増加していて、1950年 代には5人だった世帯人数は、2016年には 2.47人と半減しています。少子化傾向だけ ではなく単独世帯が増加しているのです。単 独世帯はさらに今後増加を続け、2050年に は全世帯の4割を超えるとの試算も出ていま

こうした社会では、人々は孤立しがちになり、 社会的援助も届きにくくなりがちです。お互い が支えあい、必要な人に必要なだけの支援が 届くような「地域共生社会」を私たちの力で 作っていくことが今こそ求められています。

生協のような「助け合いの組織」はまさに こうした時代の要請にあった組織であり、今 後ますますその存在意義は高まるものと思い ます。

貴連合会・組合員の皆様におかれましては、 地域社会の担い手として、一層ご活躍いただ きますことをお願い申し上げ、新年のご挨拶と させていただきます。

公明党岡山県議団 団長 **高 橋 英 士** 

## 新年のご

#### 岡山県議会会派代表のみなさま

新年明けましておめでとうございます。 新年にあたり日頃の皆様の県民福祉向 上のための様々な活動に対し、心から敬 意を表します。

さて昨年は衆議院議員選挙が行われま したが、私どもはこの選挙戦を通じて訴 えてきた政策の実現に向けて今後とも全 力で取り組んでいく決意でございます。

その中で最も力を入れていることが私 立高校の授業料の無償化であります。

私立高校授業料の軽減・無償化の動き は大阪府から始まり、いまやほとんどの 都道府県が何らかの軽減措置を実施する など、子どもたちが教育の機会をより多 くの選択肢から選ぶことができる環境が 全国的に広がりつつあります。このこと は、憲法の定める「教育を受ける権利」 にも合致するものであり大変喜ばしいこ とと考えます。 このように私立高校の授業料の壁が無くなれば、私学の優れた建学の精神のもとに希望者も増え、その結果公立・私立が互いに切磋琢磨することにより多くの優秀な人材が輩出されることが期待されます。

また子どもの貧困問題にもしっかり取り組んでまいります。私どもはこれまでも勉強が遅れがちな子どもへの教育支援など総合的な対策を盛り込んだ「子どもの貧困対策推進法」の成立に尽力するなど子どもの貧困対策に取り組んでまいりましたが、このたびの国の調査によれば子どもの貧困率は13.9%と、前回調査の16.3%からみれば大幅に低下しました。

これからも様々な政策課題の解決に向 け全力で取り組んでまいります。



日本共産党岡山県議団 団長 森 脇 久 紀

新年あけましておめでとうございます 岡山県生活協同組合連合会の皆様方 には、行政にはできないきめ細かな住民 サービスの担い手として、くらしと健康、 福祉の向上など様々な分野でご活躍され ておられますことに心から敬意を表しま す。

昨年も色々なことがありました。北九州などでの豪雨災害、北朝鮮問題、突然の解散・総選挙、伊方原発の高裁での運転差し止め判決等々。私にとって最も感動した出来事は、国連での核兵器禁止条約の採択と、それへの貢献で、国際的NGO・核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)がノーベル平和賞を受賞されたことでした。

ノルウェーの首都オスロで開かれた授 賞式で演説されたサーロー節子さんは、 「この会場で、広島と長崎で亡くなった 人々の存在を感じていただきたい」と自 らの被爆体験を語り、「核兵器は必要悪 だ」と話され、「核兵器の終わりの始ま り」にするために、すべての国を核兵器 禁止条約に参加させようと訴えられまし た。私はテレビの報道を観ながら、被爆 者と市民の長年の運動が世界を動かして いることに大きな感激と感動をいただき ました。

いま、世界でも日本でも、主権者としての役割を自覚した人々が、様々な活動に立ち上がっています。人々の声が政治を動かす、これがまさに民主主義だと思います。憲法を変えようという動きも強まっているなか、憲法にかかげられた平和と人権、民主主義とは何か、しっかり議論する1年にしたいと思います。

## あいさつ

#### 新年のご挨拶



日本生活協同組合連合会 代表理事会長

#### 本 田 英 一

新年あけましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の役職員の皆様が、組合員のくらしや地域を支えるため、日々 奮闘されておられることに心より敬意を表します。

地域やくらしに目を向けますと、少子高齢化 による人口減少が急速に進む中、地域の様々な 団体が連携し、社会的課題を解決していく取り 組みがより重要になってきています。この間、 全国の生協では地域の課題解決に向けた様々な 実践が行政、他団体と交流・連携して着実に進 められています。特に、格差・貧困の問題が深 刻になっている中、フードバンク・フードドラ イブ、子ども食堂などの多様な取り組みが、地 域の方々との協力の下で大きく広がっていま す。地方自治体との間で、地域見守りをはじめ、 子育てや地域活性化などを含む包括連携協定を 結ぶ取り組みも広がっています。安心してくら せる地域社会づくりのために、地域での連携を 通じ、組合員が力を出し合う領域を広げ、生協 の強みを生かした取り組みをさらに強めていき ましょう。

世界では、国連サミットで採択された「持続 可能な開発目標 (SDGs) | の達成に向けて、各 国政府だけでなく、多くの組織が意欲的な取り 組みを始めています。SDGsの「誰一人取り残 さない」という理念は、生協をはじめとした協 同組合の理念・方針にも合致し、今後、様々な 事業や活動の分野において、目標達成に貢献す ることが期待されています。平和の分野では、 全国の生協が取り組んだ「ヒバクシャ国際署 名」が、地域で多くの共感と賛同をいただき、 100万筆を超える署名が寄せられました。今 後も引き続き、共に取り組みを進めていきたい と思いますので、お力添えをよろしくお願いい たします。憲法改定議論が国会で本格化しつつ あります。「平和とより良き生活こそ理想」と する生協は、今こそ協同組合の力を発揮し、平 和で持続可能な社会の実現に向けて取り組みを 進めてまいりましょう。

2018年は、日本の生協の次期ビジョンの 論議を本格的に始めます。2020年代は、少 子・高齢化と人口減少・労働力不足、地域社会 や人間関係の変化、IoT やAIに見られるITの 進化など、これまでにない社会の変化が想定さ れます。全国の生協において、次期ビジョンの 論議を通し、これからのくらしと生協の事業を めぐって起き得る様々な環境変化を、より広い 視野で捉えていくことが重要ではないかと思っ ております。生協の社会的役割を発揮していく ために、全国の生協の役職員・組合員の積極的 な論議への参加をお願いいたします。

最後に、この1年が皆様にとって実り多い年 になりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶 とさせていただきます。

## 新年のごあいさつ

協同組合・友誼団体代表のみなさま



岡山県農業協同組合 中央会会長

青江伯夫

新年明けましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の会員・組合員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

平素より、JAグループの事業及び農業振興に格別のご理解、ご支援を賜り心より感謝を申しあげます。

さて、第33回岡山県JA大会で決議した、最重点分野の1つである、「担い手経営体のニー

ズに応える個別対応」を実践させるために「担い手サポートセンター」を設置して1年9か月が経過しました。この間、県下9JAと一体となって、担い手の個別訪問を中心としたニーズや苦情等の聞き取り、営農情報の提供、農業経営上の課題への対応を行いました。訪問数(延べ)は、平成28年度835件、平成29年度700件(11月末現在)にのぼっています。

これらの活動を通じて共通していること(担い手のニーズ)は、①農業経営(収支、財務、税務等)管理への支援、②法人化・既存法人運営への支援、③農業関連資金への対応に集約されています。いずれも、JAの総合事業により、担い手との信頼関係が構築でき、JA自己改革を実践するものであり、成果は、着実に表れております。特に農業関連資金は、高い伸長がなされています。

また、消費者への情報発信にも力を注いでいます。「笑味ちゃん天気予報」(RSKテレビ月~金曜日、18時50分~19時)で、県民の皆様に毎日、"農業の元気"、"農家の元気"をお届けし、おかやま農業のファン拡大に努めています。

このような活動に取り組みながら、本県の農林水産業の裾野を、これからも皆様と一緒になって広げて参ります。協同組合運動の発展に向け、生協と私たちJAがさらに連携し頑張って参りましょう。

最後になりましたが、今年一年が皆様にとりまして最良の 年となりますよう、また皆様のご健勝をご祈念申しあげ、新 年のご挨拶といたします。



岡山県漁業協同組合連合会 代表理事会長

井 本 瀧 雄

新年あけましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合 会の会員及び組合員の皆様 におかれましては、お健や かに新年をお迎えのことと お慶び申し上げます。

平素より、本県の漁業振 興に格別のご理解、ご協力 を賜り、厚くお礼申し上げ ます。

さて、昨年度は、北朝鮮から日本海等へ向けてミサイルが発射され、米国との武力衝突の懸念が高まるな

ど、国際情勢が非常に不安定な1年となりました。

こうした中、JFグループといたしましては、昨年度に 策定した「浜の活力再生広域プラン」の中に掲げた、藻場 造成の取組みや海底耕うんによる漁場環境の改善、地魚の 販売促進や消費の拡大による競争力強化、浜の将来を担う 若手漁業者の育成に努めております。

また、岡山産の養殖のりや養殖かきにおきましては、すべての漁業関係者が連携して、生産から出荷までの衛生管理の更なる徹底に努め、安心して購入していただけるよう細心の注意を払っております。

このような活動を行いながら、引き続き、新鮮で美味しい魚介類の供給をはじめ、海の生態系の保全、伝承的文化の継承など、漁業・漁村が持つ役割を果たしていくとともに、皆様方とともに協同組合の発展に注力していく所存でございます。

最後になりましたが、貴連合会の益々のご発展と組合員 皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げ、新年の ご挨拶といたします。



岡山県森林組合連合会 代表理事会長 紘一郎 井手

新年あけましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の会員・組合 員の皆様におかれましては、輝かしい新年を お迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には、安全で安心な商品・サービス の提供をはじめ、社会貢献や環境保全など、 暮らしの安全と安心に繋がる様々な活動に御 尽力されておられますことに対し、心より敬 意を表します。

さて、昨今の森林・林業を取り巻く環境は、 木材価格の低迷、担い手不足など大変厳し い状況が続いておりますが、近年の梅雨期や 台風期にもたらされる豪雨被害等により、森 林の持つ公益的機能への期待はますます高 まっています。

そのため、我々森林組合系統としましては、 県民の暮らしと健康を守る観点から、木材の 生産だけでなく、水源の涵養、土砂の流出防 止、地球温暖化防止などの多面的な機能を 発揮する健全な森林整備に努力する所存であ ります。

結びになりますが、岡山県協同組合連絡協 議会での連携・交流を深め協同組合運動のさ らなる発展に向け、共に頑張って参りましょ

皆様方の森林・林業への一層の御理解と御 支援を賜りますようお願い申し上げますとと もに、皆様の御健勝と御多幸を祈念申し上げ、 新年の御挨拶といたします。



(一社) 岡山県労働者福祉協議会 会長

余 濹 稔 新年明けましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の皆様には、 お健やかに新年を迎えられたこととお慶び 申し上げます。

今の日本社会では、格差と貧困の拡大が 経済や社会保障などの社会の仕組みにも悪 影響を及ぼすなど、看過できない状況となっ ています。とりわけ親の貧困が子供の貧困 を産み、教育格差がさらに貧困を産むとい う貧困の連鎖が起こり、そのことが少子化 や人口減少にも大きな影響を与えています。 労福協では、次世代を担う子供たちの教育 の機会均等を支援するため、奨学金制度の

改善に向けて取り組んできました。皆様方 にも多大なご協力をいただき、やっと給付 型の奨学金が導入されましたが、給付額は 低く、対象者が非常に限定されるなど、抜 本的な改善には程遠い内容となっています。 引き続き第4ステージの取り組みを展開し、 労福協運動の理念である「連帯・協同でつ くる安心・共生の福祉社会」の実現に向けて、 運動を強化してまいります。

結びになりますが、組合員皆様方の今年 1年間のご多幸を心よりお祈り申し上げ、 新年のご挨拶といたします。



(一社) 岡山県婦人協議会 会長

+紀 孑 屋

新年あけましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の会員、組合員 の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお 喜び申し上げますと共に、今年が更なる躍進 の年になりますことをお祈り申し上げます。

皆様方にはきめ細かな宅配や給食のサー ビス等々、生協の事業を通しての市民サービ スの担い手として活躍されて居られますこと に、心から敬意を表します。

私共婦人協議会も地域を大切にしながら活 動を続け、男女共同参画社会の実現、地域活 性化、環境問題、消費問題、子育て福祉等に 取り組んで、誰もが安心安全で笑顔で暮らせ る、そして住んでよかったと思える地域づく りにボランティア活動を続けて居ります。

又、子供たちが伸びやかに育つ環境を築き、 豊かな社会を目指すことを広め、若い世代へ とバトンを引き継いで参りたいと思って居り

終わりになりましたが、岡山県生活協同組 合連合会の会員、組合及び組合員の皆様の本 年のご健康と、益々のご発展を心よりお祈り 申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

## 副知事、議員、行政担当部署と懇談し

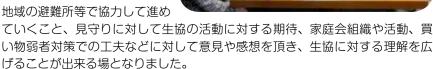
#### ●岡山県副知事との懇談【2月10日 県庁会議室】

岡山県から、宮地副知事、くらし安全安心課黒川課長、竹井総括参事、松本副参事に出席頂き、県生協連から、会長、副会長と組合員理事の7名が出席して懇談しました。

最初に生協から、熊本地震への対応、宅配事業の役割、各自治体との協定締結、見守り活動、買物弱者対策、サロン活動や生活応援などの取り組みに



ついて報告しました。宮地副知事からは、災害時の物資の流れ、 地域の避難所等で協力して進め





#### ●岡山県行政との懇談会【2月10日 県庁会議室】

岡山県から、くらし安全安心課黒川課長、竹井総括参事、松本副参事、長寿社会課山縣総括参事に出席頂き、県生協連から8名が出席して懇談しました。

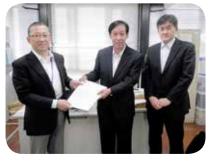
黒川課長と県生協連から、それぞれ挨拶した後、黒川課長から要望書に対する回答が行なわれ、懇談では生活支援サービスや地域包括ケアの構築、医療介護分野での担い手不足の問題、地域社会づくりの取り組みなどについて、意見交換を行いました。引き続き生協として市町村での実績を積みながら県との連携を築いていくことが必要となります。



#### ●岡山県への要望書の提出について【10月26日 県庁くらし安全安心課】

岡山県に対して要望書を取りまとめ、提出しました。

- ①生協の社会的取り組みに対する評価、行政としての位置づけ
- ②食の安全安心、食育 ③農林水産業の育成
- ④少子化対策、子育て支援、子どもの貧困
- ⑤健康づくり、健康寿命の延伸
- ⑥国民健康保険の県への移行 ⑦消費者行政の推進
- ⑧ヒバクシャ国際署名への協力 ⑨災害対策 に関する9つの要望です。岡山県からくらし安全安心課森脇課長、立岡総括参事、松本副参事に対応して頂き、要望書の内容について説明をした後、質疑応答をする中で理解を深めて頂きました。



#### ●第33回 中四国生協・行政合同会議【8月31日 東京第一ホテル松山】

第33回 中四国生協・行政合同会議が『安心してくらせる地域づくりに求められるこれからの連携』をテーマとして開催されました。

日本生協連中四国地連小泉信司議長より開会挨拶の後、厚生労働省社会・ 援護局地域福祉課消費生活協同組合業務室山本亨室長から、地域のあらゆる 住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティ を構築する「我が事・丸ごと」の地域づくりなど、地域共生社会の実現に向 けた取り組みも本格化していること、これらの取り組みに関して生協との連 携・協働等の参考にしてもらうようにまとめた「生協が行う地域福祉の先駆 的な取組事例」の紹介があり、各生協において、地域包括ケアシステムや地



域共生社会づくりへの理解と積極的な参加、実践を期待したいとの挨拶がありました。日本生協連の報告の後、開催県の愛媛県中村時広知事より「笑顔あふれる愛媛県の実現にむけて」と題して、愛媛にしかないブランド商品づくりなど商品開発と販売に力を入れていることなどの講演がありました。活動報告は、①「地域力を生かした高齢者見守りネットワークの構築」愛媛県東温市消費生活相談員武田咲枝さん、②「地域で共に取り組む見守り活動」高知生協常務理事下元俊和さんからそれぞれ特徴的な報告がありました。分散会(グループ交流)では、「行政と生協で一緒に出来ること」をテーマに参加者全員で意見交換を行い、理解を深めました。

## 情報提供や意見交換を行いました。

#### ●第29回 岡山県議会議員のみなさまとの懇談会を開催【11月30日 オルガホール】

11月30日(木) 岡山県議会議員のみなさまと県生協連との懇談会を開催し全会派から12名の議員に参加頂き、「安心してくらせる地域社会づくりへの参加と取り組み」をテーマに懇談を行いました。

#### 【ご出席頂いた県議会議員のみなさま】

○自由民主党 小田 圭一 議員(団長) 江本 公一 議員(総務委員長) 小林 義明 議員

太田 正孝 議員 青野 高陽 議員 福島 恭子 議員

○民主・県民クラブ 高原 俊彦 議員(団長) 高橋 徹 議員○公明党 増川 英一 議員 荒島 俊造 議員○日本共産党 森脇 久紀 議員(団長) 氏平 三穂子議員



小田 圭一 議員



江本 公一 議員



小林 義明 議員



太田 正孝 議員



青野 高陽 議員



福島 恭子 議員



高原 俊彦 議員



高橋 徹 議員



増川 英一 議員



荒島 俊造 議員



森脇 久紀 議員



氏平 三穂子 議員

開会にあたり県生協連近藤会長から、懇談参加のお礼と今回のテーマ、地域社会づくりへの参加にふれて挨拶を行い、その後各議員から、自己紹介を含めて生協との関わりや期待などご挨拶を頂きました。

続いて、パワーポイントや動画を使って、県生協連の紹介や主な取り組みと県への「要望書」について、おかやまコープから、事業や活動、地域社会づくりへの参加の取り組み、自治体との協定締結、エシカル消費の動画などについて、三井造船生協から、地域に根ざした行事や取り組みについて、医療生協から、連携・協働によるまちづくりと生活応援、健康づくりや災害に強いまちづくりなどについて報告し、生協への理解を深めました。

その後の意見交換では、議員のみなさまから、配食サービスの状況やフードバンクの取り組み、中山間地域などでの医療と 買物の連携、医療生協や自治体の健診制度、エシカル消費や悪質クレーム対応、新庄村での買い物弱者への支援対応の判断に

ついて、消費期限、賞味期限の厳守による食品ロスの増加、 地域で障壁になっている個人情報保護法などについての質 問や意見、要望を頂き、懇談を行いました。

限られた時間でしたが、生協への理解を深めるとともに相互の交流を深めて頂く機会となりました。お忙しい中、 懇談会に出席いただきました議員のみなさまにお礼申し上 げます。



### 協同組合間の連携を進めました。

#### ●協同組合連絡協議会でコープフェスタ2017に出展 展示や試食・販売などで協同組合の取り組みをお知らせしました。



岡山県生協連合会



岡山県農協中央会



岡山県森林組合連合会



岡山県漁協連合会

が開催され、全体で2万人の 方が訪れ、終日賑わいました。 協同組合連絡協議会では、 昨年に引き続き、県生協連、 県農協中央会、県漁連、県森 林組合がそれぞれ、ブース を展開し、展示や試食、販売 などを行う中で、各協同組合

9月23日(土)コンベック ス岡山にて、おかやまコープ 主催コープフェスタ2017

なこを行つ中で、各協同組合の取り組みをお知らせしました。また、協同組合コーナーのブースでは、4つの協同組合のブースの内容から回答するクイズラリーを実施し、多くの方が参加されました。

#### 国際協同組合同盟(略称:ICA)総会が、マレーシアで開催されました。

11月13日~17日にかけて、国際協同組合同盟(略称:ICA)の総会および関連会議が、マレーシアのクアラルンプールで開催されました。総会には66カ国・1,800人以上の協同組合関係者、政府関係者が参加しました。総会では「協同組合:人を開発の中心に置く」をテーマに、国連が掲げた「持続可能な開発目標」(SDGs)の実現に向けて、協同組合が果たせる可能性について報告や討議が行われました。

15日~16日には、全体会と合計38の分科会が行われました。分科会では、「学ぶ」「試みる」「ネットワーク」「探

究する」の4つのテーマに関するセミナーやワークショスを開催されました。また閉金を開催されまして、元ノルウェーラント医師から「協同である自然であるのに、極めて重要ながありました。

17日のICA総会では、日本生協連の本田 英一会長が、日本の生協が平和活動の一環として「ヒバクシャ国際署名」に取り組んでいることを報告し、核兵器のない平和な未来の構築に向け、共に活動を進めることを呼びかけました。



ICA 大会で報告する日本生協連の本田会長

## 会員生協の組合員、役員・職員が交流し、学びました。

#### ●県連・会員生協役員研修交流会【1月6日 オルガホール】



日本生活協同組合連合会 嶋田専務

県生協連・会員生協役員研修交流会を64名の参加で開催しました。 岡山県くらし安全安心課黒川課長より、生き活きおかやまの実現にむけ、自立した 消費者をめざすことや消費者被害の撲滅、悪質事業者への対応等消費者行政の充実、 強化にふれて挨拶が行なわれました。

日本生活協同組合連合会嶋田専務から「2020年ビジョンと生協の事業戦略・地域戦略」をテーマに講演が行なわれました。2020年ビジョンを考えるときに、どんな想いでつくり、活動を進め、生み出した価値が何であるのか考えていくことが必要であること。ユネスコの無形文化遺産の登録は、共通の利益実現にむけ、協

同組合を組織するという「思想と実

践」が評価されたこと。「協同組合のアイデンティティに関するICA声明」は、2020年ビジョンを考える上での原則として考え、国連の持続可能な開発目標は、世界を変えるための17の目標として採択され、私たちもしっかり向き合うことが必要であることや3つの重点課題について話され、あらためて生協の基本的価値や意味、社会的役割を考えることが出来る研修となりました。

続いて、岡山市教育委員会文化財課長乗岡実氏より、「秀吉の時代の城 -宇喜多領と毛利領を読み解く-」をテーマに 講演して頂き、大変興味深いお話を聞くことができました。



#### ●組合員活動交流集会 [2月1日 オルガホール]

組合員活動交流集会を「だれもが安心して暮らせるまちつくり」をテーマとして、148名の参加で開催しました。

開会挨拶のあと、『「まちづくりに自分たちができること!」~おおた高齢者見守りネットワーク(愛称:みま~も)の取り組み~』をテーマとして大田区地域包括支援センター入新井センター長澤登久雄様より講演が行なわれました。

地域包括ケアシステム構築のキーワードは、いくつになっても行きたい場所があり、友人・知人がいて自分を待っていてくれる、必要としてくれるなどその人なりの社会参加があること。連帯協同することでお互いにとってメリットがあり、まつりなどのイベントではなく「日常をどう築くか」の視点が大事であり、自分のために行うことの大切さを学ぶとともに私たちがまちづくりを進めていくための考え方や視点をわかり易く話して頂き、大変参考になりました。



入新井センター長 澤登氏

実践報告として、三井造船生協から「三井造船生協の宅配事業」、岡山医療生協から「福南支部の元気な活動〜虹の家の取り組み〜」、おかやまコープから「地域の見守り活動の取り組み」、倉敷医療生協から「子ども食堂の取り組み」について報告があり、各生協で進められている特長的な事例について学びました。



## 会員生協の組合員、役員・

#### ●他生協訪問研修 熊本地震と熊本県生協連の対応 [11月2日~3日 熊本]

熊本地震の復興状況の視察と発災直後からの被災地支援の生協の取り組みと 教訓などを学ぶことを目的に、熊本県生協連へ岡山県生協連役員及び会員生協 から12名で研修に訪問しました。

生協くまもと事務所にて、熊本県生協連の吉永会長から、「熊本地震被災に生協が対応したこと」と題して、今回の震災支援の取り組みの全容と課題や教訓について、また、西原村のご自宅がつぶれ、九死に一生を得た大谷専務から「熊本地震を体験して」と生々しい被災時の状況について、さらに復興支援センター事務局(組合員)から「組合員による被災地支援活動」として、公募のコープサポーターの参加により現在すすめている「こ~ぷ喫茶(サロン活動)」などの被災地支援活動の報告を受けました。



吉永会長(左)と大谷専務

#### 熊本地震被災への生協の対応と課題・教訓

- ・発災後の4月17日に、災害対策本部として、熊本県生協連と生協くまもとの合同対策本部を設置、そこに人的支援要請を受けた日本生協連とコープ九州事業連合が加わり、膨大な人的支援を受け震災対応を行った。 「事業継続」と「被災者支援」の基本方針のもと、全国延べ109の生協から、延べ1,978人の人的支援を受け、事業と被災者支援を行った。
- ・県下12の市町村の78の避難所及び物資集積場に延べ169回、59万点の救援物資を提供した。 この間の大きな震災を経験した日本生協連の商品調達のプロの職員のおかげで物資支援がスムーズに動いた。
- ・避難所や施設での高齢者や障がい者への介護支援が逼迫し生協や団体から福祉関係延べ267人が支援した。
- ・各自治体との関係づくりが重要だと痛感した。したがって年1回程度は、災害時の対応確認と担当者確認のために、県及び市町村の災害部局、災害担当と協定を結んでいる団体が一堂に会する合同会議が必要。 「生協の協同の力がすごい」と行政から言われた。「生協が、イザという時とても頼りになる組織」であり、「生協はこれがやれるんだ」ということを行政に理解してもらえる日常的な信頼関係づくりが大切。
- ・被災地でのサロン活動などは社協や自治会との連携を大切にし、「善意の押し売り」にならないことを注意。

#### 熊本地震被災地の復興状況

・震度7の激震を二度受けた、熊本の象徴である「熊本城」は、石垣がくずれ、すべての建造物が被災。これまで、部材回収や倒壊防止等の対策がすすめられており、本格的な復旧工事が現在、始まったところ。

復旧に20年、634億円の費用が必要。

- ・仮設住宅は県内16市町村、4,303 棟全て完成し、今なお44,373人が 仮住まい。516世帯が住む一番 大きなテクノ仮設住宅。(右写真)
- ・地震で110センチ横にずれた「大切畑大橋」の復旧工事現場。
- ・阿蘇大橋が崩落して大学生が車ごと巻き込まれ亡くなった南阿蘇村の現場を視察。山が大きく崩れ、大規模な土砂崩れにより橋が流された当時とほぼ同じ状態。600m下流に橋を架け替えて3年後に開通予定。













## 職員が交流し、学びました。

### ●ヘルスチャレンジ2017今年度も10,000人以上の参加で取り組みました。

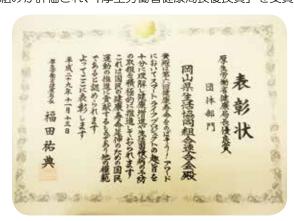
県生協連での統一した取り組みとして6年目を迎えた「ヘルスチャレンジ」は、今年度は岡山県の「健康おかやま21」の協賛事業として実施しました。また、全自治体及び岡山県、岡山市、倉敷市、津山市の各教育委員会と山陽新聞社から後援を頂き、取り組みました。

昨年の小学校への取り組みにならって、学校関係への働き掛けが広がりました。参加 人数は、前年度の10.136名を、さらに上回る参加者となりました。

#### ●ヘルスチャレンジ2016の取り組みが、厚生労働省 スマート・ライフ・プロジェクト「第6回健康寿命を のばそう! アワード」で表彰されました。[11月13日 東京]



厚生労働省が「健康寿命をのばしましょう。」をスローガンにすすめている国民運動「スマート・ライフ・プロジェクト」の一環として、生活習慣病予防の啓発活動の奨励普及を図るために、健康づくりのために優れた取り組みを行う企業・団体・自治体を表彰する取り組み「健康寿命をのばそう!アワード」(生活習慣病予防分野)で、「ヘルスチャレンジ2016」の取り組みが評価され、「厚生労働省健康局長優良賞」を受賞しました。





厚生労働省の福田健康局長(左)と県生協連近藤会長

#### ●コープフェスタ2017 健康チェックコーナー [9月23日 コンベックス岡山]

おかやまコープ主催コープフェスタ2017が開催され、全体で2万人の方が訪れ、終日賑わいました。 岡山医療生協、倉敷医療生協、津山医療生協の3つの医療生協合同で、健康チェックコーナーの運営を行い、多くの方がブースに来られ、健康チェックを行いました。

今回は、骨密度測定、体力測定、足指力測定、すこしお生活、あいうべ体操、血圧・BMI測定の6つのコーナーを実施し、すこしお生活のブースは県栄養士会と一緒に行いました。また、スタンプラリーで4つのコーナーを回ってもらいました。





## 岡山県消団連、NPO消

#### ●第31回 岡山県消費者大会【10月31日 オルガホール】



伊藤真弁護士

第31回岡山県消費者大会を「守ろう私たちのくらしと社会、学ぼう憲法と私たちのくらし」をテーマに、17団体197名の参加で開催しました。

主催者を代表して岡山県消団連近藤幸夫代表幹事より、県消団連の果たしてきた役割など開会の挨拶が行なわれ、続いて講演では、伊藤塾塾長で弁護士、憲法の伝道師として全国で講演会や執筆活動をなさっている伊藤真先生より、「憲法と私たちのくらし〜憲法のめざすもの〜」をテーマに、エネルギッシュにお話して頂きました。憲法を学ぶ意義、憲法の基本的な考え方や憲法制定の目的、憲法が持つ立憲主義の理念と基本原理、憲法9条の持つ意味や意義と戦争の恐ろしさ、平和主義と集団的自衛権、憲法改正国民投票の問題点など、とても幅広い内容にもかかわらず、わかりやすい切り口で、世界の歴史的事実や情勢も盛り込みなが

ら話されました。憲法の理想に現実を近づけることこそが必要なこと、国民自らが自分の生活に引き寄せて具体的に考えることが大切なことなどを学びました。

団体報告では、岡山医療生協が、学校関係などで好評を得ている戦争を題材にした手作りの平和紙芝居「ふたつの命」を披露されました。

新日本婦人の会岡山県本部は、岡山の教育をよくするアンケートの声から、岡山市や倉敷市の小・中学校など28校を訪問、調査し、その内容を教育委員会へ申入れした結果、改善された内容などを「学校ウォッチング」と題して報告がありました。

岡山県労働者福祉協議会からは、「奨学金問題の現状と課題~奨学金制度改善を考える」をテーマに、2015年から取り組んでいる奨学金の制度改善について、現状がどうなっていて、どこに問題や課題があるのかを具体的に説明され、今後に向けて、給付型奨学金の早急な導入と拡充をはかることや適切な所得連動型返済制度の創設が必要なことなどの提言を含めての報告がありました。



岡山医療生協 平和紙芝居



新日本婦人の会 赤坂てる子さん



岡山県労福協 清水康平さん

最後に、岡山県母親連絡会の花田千春さんより、第31回岡山県消費者大会の大会決議案が提案され、満場一致の拍手で確認されました。

#### ●消費者被害撲滅キャンペーン【5月21日 シティライトスタジアム前】

5月21日(日) 10時からシティライトスタジアムにて、岡山県が主催し消費者被害撲滅キャンペーンが開催されました。当日は、「消費者被害撲滅デー」として、消費者ネットおかやまから4名が参加し、県職員とともに消費者被害にあわないための啓発グッズ(ファジアーノ特製リストバンド入り) 5,000個をファジアーノ岡山公式戦の

入場者に配布しました。



会場には、岡山県消費者月間PR ブースが設置され、選手のメッセー ジボードや等身大パネルの展示、 ファジアーノの選手による「消費者 ホットライン」の啓発ビデオをなが すなど、広くアピールをしました。



## 費者ネットおかやまとともに

#### ●消費者ネットおかやまが初めての訴訟を提起し、記者会見を行いました。[7月21日 オルガ会議室]

適格消費者団体消費者ネットおかやまは、7月21日、花園クリニックに対して、消費者契約法に違反すると 考えられる同病院の治療費不返還条項の使用差止を求め、消費者契約法の消費者団体訴訟制度に基づく差止請求

訴訟を広島地方裁判所福山支部に提起しました。適格消費者団体に認定されて初めての提訴でした。8月29日の第1回口頭弁論期日において、被告が消費者ネットおかやまの請求を全面的に認めて「認諾」したため、訴訟は修了し、治療費不返還条項の使用差止請求の目的は達成しました。訴訟にあたり、初めての記者会見を開催し、新聞社、テレビ局など多くのマスコミが参加し、報道されました。



#### ●消費者月間 講演会 [6月3日 おかやま西川原プラザ]

岡山県消費者団体連絡協議会とNPO消費者ネットおかやまが主催し、岡山県との共催で、「消費者月間講演会」をおかやま西川原プラザにて開催し、71名が参加しました。

開会にあたり、岡山県消団連近藤幸夫代表幹事より、広告の規制緩和が広がっている中、私たち自身が広告を見る目を養い、主体者として、優良な広告や事業者を選ぶ確かな目を持つことが必要であることなどの挨拶を行いました。続いて県消費生活センター佐藤所長より、平成28年度の相談件数は前年から1.4%増えて8,751



JARO 武田氏

件となり、70歳以上の相談が一番多くなっていることや情報通信関係の相談が多く全体の3割を占めていること、また、いくつかの特徴的な具体的な事例も含めて報告をいただきました。

次に「広告を見る目を養おう! ~事例でわかる問題表示~」と題して、公益社団法人「日本広告審査機構(JARO)」の武田様から講演をして頂きました。JAROへの相談件数は昨年9,773件と前年より18.1%増加し、過去最多で「苦情」が増えていること、「苦情」はテレビとインターネットが増加しており、この上位二つで寄せられる「苦情」全体の77%を占めていること。虚偽・誇大な表示を禁止する法律として「景

品表示法」や「医薬品医療機器等法」があるが、 消費者一人ひとりが「広告を見るチカラ」や情報を読み解き、活用する能力を持つ必要がある こと、一番大事なのは、「そんなにすごいなら、 どうして自分でやらないのか」と冷静に考えて みることや「本当にそんなことがあり得るのか 考えてみる」など私たち自身が常識的な感覚を 持つことであり、そういう問題ある広告の商品 を利用しないなど消費者の行動が大切であるこ とを強調されました。



#### ●見守り力アップ講座を開催



消費者ネットおかやまが岡山県の委託事業としてこれまで取り組んできた「消費生活サポーター講座」を地域における見守り活動の視点でさらにステップアップさせることを目的に、今年度から「見守りカアップ講座」を開催しています。特に健康やお金、孤独の不安を抱え、判断力の低下が避けられない高齢者等に付け込んだ悪質商法や特殊詐欺などの被害が絶えない今日、これらの未然防止と発生後の対処法は、地域の見守り活動にとって欠かせない取り組みのひとつであり、高齢者と直接、接する福祉関係の方々も多く参加しています。

## 会員生協トピックス

#### 岡山県学校生協 <「エンジョイライフセミナー」を開催>

日 時 2017年12月2日(土) 11:00~15:00

会 場 おかやま西川原プラザ2F 第1会議室

参加者数 28名

セミナー内容 「50歳代から家族のためにやるべきこと」 「介護施設・介護保険の基礎学習会」など



5 0 歳以上の組合員さまを対象にこれから迎えるであろうご両親さまのライフイベントの 対策やご自身のセカンドライフをより楽しく過ごしていただくために役立つ提携事業のご紹介などを行いました。 また、退職組合員によるマジックショーで和やかな雰囲気でセミナーを開催することができました。

#### 三井造船生協 < 「第2回たまの旬のさんま祭り」を開催>



2017年9月24日(日)第2回たまの旬のさんま祭りが三井生協本部店と玉野魚市場の2会場で昨年に引き続き開催されました。今年はサンマが不良で開催当日まで、宮城県から生のサンマが入荷するのか?とても心配しましたが、おかげ様で宮城県気仙沼から新鮮な生サンマが1000尾届けられました。当日は朝9時半から午後1時まで、昨年より多くの組合員様や地域のみなさまに多数ご来場いただき、東北復興支援の願いと共に、新鮮なサンマを炭火で焼いて、大分県臼杵産のカボスと大根おろしと醤油でサ

ンマを頭からまるかじりでご賞味いただきました。

また、第2回たまの旬のさんま祭りの開催にあたり、吉備笹の葉焼きさんま隊のみなさまやボランティアとして、数多くの玉野市内外の高校生や岡山市の大学生及び三井労連青年部のみなさま他のご協力により、第2回たまの旬のさんま祭りを成功裏に終了いたしました。これからも東北大震災を忘れない、復興支援の灯火を絶やさないという思いで、組合員のみなさまと地域のみなさまと共に歩んでまいりたいと願っています。



#### **岡山医療生協** < 「岡山医療生協65周年記念カーニバル」に1500人>



65周年を迎えた岡山医療生協は西大寺百花プラザを会場に「岡山医療生協65周年記念カーニバル」を開催しました。

今回のカーニバルは子ども・子育て世代から高齢者や戦争体験者といった幅広い層の 人が参加できるよう様々なコーナーを設ける工夫をしました。

記念講演は「出会いふれあい人の味」と題して岡山出身の俳優「八名信夫」さんに自身の人生やコマーシャルの裏話、戦時中の体験などユーモアを交えて話していただきました。また、子どもたちに人気のあるうたのおにい

さん「あおにぃ」の歌と踊り、元気なジャザサイズのダンスなどで会場はちいさな子どもまで盛り上がりました。

「すいとん試食」など平和につながる企画、「母と子のタッチケア」「工作コーナー」「おひるねアート」などはちいさな赤ちゃんから小学生、子育て世代の人たちに好評でした。 健康チェックは164人が受け、西大寺の町を歩く「ウォーキング」や「ヨガ体操」「脳いきいき講座」などの健康づくりコーナーにも大勢の人が参加、全体では約1500人の人で賑わうカーニバルになりました。



#### **倉敷医療生協** <岡山大学とコラボ 健康まつりで『無料肝炎検診』を実施>

11月に開催した「水島健康まつり」と「玉島健康まつり」の会場で、まつりの目玉企画として岡山大学病院の肝炎相談センターの協力を得て、無料肝炎検診を実施しました。肝炎ウィルス感染者は日本で210~280万人いると推測され、その3割は自分が感染していることに気づいていないと報告されています。肝炎ウィルス検査の受検率アップが急がれています。水島会場で144人、玉島会場で107人の方が受検されました。肝炎陽性者が2人発見され、治療へとつながりました。



#### おかやまコープ <行政との連携を進めています>

おかやまコープでは、安心してくらせる地域づくりを目指し、行政や諸団体との連携を図るために行政訪問等を積極的に行っています。地域でのさまざまな取り組みが認められて、災害時物資協定や地域見守り協定を締結することができました。

「地域見守り活動に関する協定」は、2017年11月に美作市と締結し、県内の全自治体(※玉野市を除く)と協定を締結することができました。

※玉野市は、三井造船生協と協定締結しています

#### ≪ 農業の担い手育成を支援しています ≫



5月29日、岡山県高等学校農業教育協会・JA全農おかやまと「地域連携農業教育推進に関する協定」を締結しました。店舗での各校特産品の販売や、生産者・企業でのインターンシップなど、農業がより身近な職業と感じられる実践的な体験の場を提供することで、県の農林水産業を支える人材育成をすすめていきます。

10月25、26日に岡山市で開催された「第68回日本学校農業クラブ全国大会」では「おかやまコープ地域づくり協働基金」から参加者へのコープのお茶の提供や広告協賛で129万円を拠出し、大会の成功を応援しました。



協定締結状況 2017年12月末現在



#### **岡山県労済生協(全労済岡山推進本部)** <県内11地区で地区推進会議を開催>

全労済岡山推進本部では、2017年11月8日~30日の間、県内11地区で地区推進会議を開催しました。2017年岡山では台風災害で多くの被害が多く出たこと、また2018年度、岡山県労済生協は60周年を迎えることから、2017年下期を60周年プレ推進キャンペーンとして、住まいる共済の推進を実施していくことを協力団体と確認しました。



受付件数331件 調査完了件数262件 現場調査必要件数279件 調査完了率93.9%

#### ◆台風21号の共済金支払い状況(2017年12月15日時点)

火災共済214件·27,337千円自然災害共済128件·43,087千円慶弔共済46件·489千円





#### 津山医療生協 <『高齢者の筋トレ』をテーマに健康集会を開催>

12月2日(土)、健康集会が行われました。今年は地元の病院の理学療法士を招き、『高齢者の筋トレ』をテーマに学習しました。当初30人位の規模で準備していましたが当日50人近い参加で熱気のある講演会でした。高齢になって衰える筋肉が日常生活にどう影響するかや、寝たきりを防ぐための筋力づくりの方法など、参加者の興味を引く内容だけにみんな真剣に聞き入っていました。筋トレを現在行っている方も多く、質問コーナーでは自分自身の膝痛についての改善方法や家族の筋トレの事など終了時間を延長して行われました。



## 会員生協トピックス

#### グリーンコープ生協おかやま <地域に根ざした組合員活動>

2017年も様々な催しを企画しながら組合員活動に取り組みました。

組合員が主体となり、自分たちで考え、企画し、自分たちも楽しく参加することで、活動の幅も広がり、たくさんの地域の方たちと出会うことができました。今後も地域に根ざした組合員活動を充実させていきたいと思っています。

岡山北B地区委員会では、10月12日にグリーンコープ自慢の産直びん牛乳をテーマとした「びん牛乳deランチ」を開催しました。「安心」「安全」「おいしい」産直びん牛乳を使った料理を、みんなでわいわいおしゃべりや情報交換をしながら、美味しく楽しい時間を過ごすことが出来ました♪

また、理事会では、11月8日に第二回地域福祉セミナー『困難を抱えた子どもの自立支援を通してみえること』を開催し、地域福祉について考える機会を設けました。講師の話を聞き、子どもたちの自立支援の取り組みを通して、知ることの大切さと、改めて「福祉」について考えるきっかけをもらったように感じました。





#### 岡山大学生協 <受験生応援の対応>



岡山大学生協では毎年、さまざまな受験生の不安を解消するために、生協学生委員会 C.C.C!のスタッフを中心に、JR岡山駅での道案内や津島キャンパス・鹿田キャンパス内の道案内・受験生相談の対応を行っています。

また、受験生に付き添って来られる保護者様を対象とした「受験時保護者説明会」を開催し、お子様の受験はもちろんですが、その後の「入学準備」や「一人暮らしのお部屋探し」への不安を少しでも解消して頂けるようにアドバイスを行っています。

更に最近は、

受験生段階でアパート・マンションの「合格発表前予約」をご希望される方も年々増えてきており、岡山大学生協でも推薦・AO入試、前期日程入試、後期日程入試それぞれの受験形態の受験生からのご予約をお受けしています。





#### 就実生協 <1周年記念イベント『みんなで当てよう!ガラガラPON!』実施>

2016年の9月にオープン(事業開始)をしましたので、1周年になる2017年の秋に、1周年イベントとして『みんなで当てよう!ガラガラPON!』を実施しました。

組合員証(フェリカカード)でご利用できる就実生協電子マネーでお買い物をされたレシート5枚で1回ガラガラPON!を回せる企画です。1等は生協利用券1万円分、2等は家電製品(3,000円相当)な





どの豪華景品でした。学生だけでなく、教職員の方も参加されて約400人がガラガラPON!を回し大盛況でした。

企画は生協学生部seedSが企画・運営を行いました。これからも学生の主体的な活動でキャンパスを賑やかにしていきたと思います。

#### 会員紹介(設立期順)

#### 岡山県学校生活協同組合

代表者名 理事長

鳥越 範博

組合員数 18,261 人

出 資 金 167,253 千円

供 **給 高** 727,780 千円 **活動エリア** 岡山県内、保・幼・小・

中・高等・特別支援・

大学職域



#### 設立登記年月日

1949年9月10日

**役 員 数** (常 勤) 2 人 (非常勤) 15 人 (監 事) 3 人 職 **員 数** (正 規) 7 人 (内 1 人出向) (パート) 2 人

概 略

岡山県学校生活協同組合は、県内公私立の保育園・こども園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学、教育委員会に勤務される方とその職場を退職された方を対象とした職域生協で、組合員より拠出された出資金により運営される事業体です。

学校生協は、1949 年に発足以来、組合員の皆さまとともに幾多の困難を乗り越えながら、今日まで発展してきました。今、私たちを取り巻く状況は、行先不透明で不安をかかえたまま推移しています。こういう時だからこそ「平和やくらしを守る生協運動」の果たす役割がますます大切になってきています。今後とも、学校生協事業を魅力あるものに変革しながら、生協本来の活動に邁進し、組合員の福利厚生を担う事業体として更に活動を続けてまいります。

#### 岡山医療生活協同組合

代表者名 理事長

高橋 淳

組合員数 67,543人

(2017年11月末現在)

出資金 1.907.955 千円

**山 貞 並** 1,907,903 115 (2017年11月末現在)

供給高7.963.604千円

(2016年度)

活動エリア 岡山県下一円

**設立登記年月日** 1952 年 10 月 21 日

**役員数**(常勤)8人 (非常勤)25人(監事)5人

職 員 数 (常 勤) 699 人 (定 時) 335 人

概 略

岡山医療生協は、いのちと心を大切にします。

1952年に設立された当組合は、現在2つの病院、4つの診療所、10の介護事業所、健診センターで構成され、健診から急性期医療~在宅まで、地域のみなさまの様々な要望にお応えしています。

当組合では、設立当初より「いのちの平等」を掲げ、人権を大切にした医療・介護をすすめています。そのため、入院時も部屋代(室料差額)を頂かないことや、2012年1月には2つの病院で無料低額診療事業(患者さんの負担能力に応じて、窓口負担分を無料又は低額にする制度)を開始し、拡大する貧困への対応を強めています。

昨年は協立病院の透析センターを開設しました。地域活動では誰もが参加できる「あったか食堂」やお互いを助け合う仕組み「てご\*\*ネット」など地域の助け合い活動を広めました。子育て世代の活動参加も「キッズクラブ」や「母と子のタッチケア」などを通じて広がっています。そういった活動を広くしらせるため開催した「岡山医療生協65周年記念カーニバル」は1500人という多くの参加をいただき、十分な成果を上げることができました。

今年も組合員サービスの向上や協立病院リニューアルにむけて大きな飛躍を目指 します。

#### 三井造船生活協同組合

代表者名 理事長

武部 吉治

組合員数 22,953人

(2017年10月末日現在)

**出 資 金** 538,648 千円 (2017年10月末日現在)

給 高 4,174,350 千円

(2016年度)

活動エリア 玉野市、岡山市、

倉敷市

**設立登記年月日** 1950 年 11 月

職 員 数 (正 規) 102人 (2016年度末)

(定 時) 71人(2016年度末)

概 略

創立以来『人とひとのつながりを大切にし、健康で心豊かなくらしの 実現を目指します』の理念のもと、現在では職域ばかりでなく、地域組 合員のくらしを支える共同相互組織として、店舗(玉野市内に5店舗) 及び共同購入での供給事業や、葬祭事業、福祉介護事業、旅行業、共済 事業など幅広く展開しています。

また、組合員活動では1956 年に結成した家庭会(地域組合員組織)を中心として環境問題や福祉活動その他安全な商品の提供にも積極的に取り組んでいます。中でも家庭会チャリティーバザーは第1回目の1979年から連続39年間、毎年その収益金を玉野市の社会福祉事業へ寄贈(累計で1,828万円)など、まさに地域社会にしっかりと根ざした活動となっています。

これら、事業及び組合員活動の歴史を礎に、組合員による・組合員の ための生協、安心・安全をキーワードとした生協、また、人と環境にや さしい地域社会づくりに貢献できる生協をめざします。

くらしの中に、そして地域の中に生協がある。

~こういう生協をめざして~

#### **倉敷医療生活協同組合**

代表者名 代表理事 谷 謙一

組合員数 65,995人

出 資 金 1.714 百万円

供給高 103億円

活動エリア 岡山県全域

**設立登記年月日** 1955年2月28日

**役員数**(常勤) 11人

(非常勤) 17人(監事) 6人

職 員 数 (常 勤) 837 人 (非常勤) 448 人

概 略

倉敷医療生活協同組合は、総合病院水島協同病院を中心に、3病院、2医科診療所、7歯科診療所、3訪問看護ステーション、老人保健施設に加え、倉敷市の高齢者支援センター、助産院など多彩な機能を持った26事業所を有して、関連する社会福祉法人・株式会社・NPO法人とともに、医療・介護・福祉と健康づくりのネットワークを展開しています。

2013年(創立60周年)、組合は将来を見据え、医療の質の更なる向上や 災害にも強い安全・安心な事業所づくりを提起し、2014年の玉島協同病院、 2015年の阿新歯科診療所の移転新築に続き、昨年2月にはコープリハビリテーション病院・老健あかねを移転新築しました。水島協同病院や玉島協同病院では、 災害時を想定した訓練を倉敷中央病院はじめ、消防署や地域の医療機関とも連携 しながら取り組んでいます。

また、地域では「助け合い・支え合い」「人と人とのつながり」を大切にするため、自治体・他法人・社協・ワカーズコーブ・地域組織・町内会等と連携・協力し、居場所づくりとしてのサロン活動や子ども食堂、あらゆる機会を活かしてイベントや街角で健康チェックに取り組んでいます。生協ならではの「班会」を地域に開放し、フレイル予防やまちづくりの輪を広げています。13年目となったヘルスチャレンジでは、児島地域の小学校5校をはじめ8校が参加いただき、児島地区の小学生の半数近くが取り組んでいます。あわせて5400名を超える方々の参加で、健康づくりの輪も大きく広がっています。

引き続き、行政や地域の諸団体と協力し、組合員、地域住民の切実な思いに寄り添い、「人が人として大切にされる社会」をめざして活動を強めます。



#### 会員紹介(設立期順)

#### ● 生活協同組合おかやまコーフ。

代表者名 理事長 平田 昌三

組合員数 339.649 世帯

(2017年11月末日現在)

出資金 105.1 億円

(2017年11月末日現在)

総事業高 404.3 億円

(2016年4月1日~2017年3月31日)

岡山県一円(定款エリア) 活動エリア

設立登記年月日 1956年6月13日

役員数(常勤理事)5人(非常勤) 14人 (常勤監事) 1人 (監事) 4人

職員数 (正規) 426人 (定時) 1,574人(2017年11月末日現在)

-プは、県内の4割を超える33万世帯が加入する県下最大の消 おかやまコ-費者組織です。「つながり育む 笑顔広がる 豊かなくらし」をビジョンとして、 宅配・店舗の購買事業を中心に、共済事業、福祉事業を行っています。品質マ ネジメントシステムの国際規格 ISO9001 を取得し、安全・安心な商品の提供 や産直、地産地消の取り組みをすすめ、循環型農業を応援しています。

商品学習や産地交流などの商品活動やたべる・たいせつ活動、省エネ活動 やリサイクル活動、マイバッグ運動などの環境の取り組み、核兵器と戦争のな い世界をめざしての平和活動、国境を越えた助け合いの活動としてユニセフや AMDAへの支援活動、「子育てひろば」などの子育て応援やお互いさまの気持 ちで支えあう「は~と♡ふるネット」など、多彩な組合員活動にも取り組んで います。

安心してくらせる地域社会づくりへの参加として、くらしの困りごとの解決 にお役立ちする「生活支援サービス」や里海・里山づくりの取り組み、自治体 との見守り協定や災害時物資協定の締結などを進めています。

子会社のコープピーアンドエスでは、保険、旅行、飲食、フィットネスや葬 祭などの斡旋事業を行っています。また、子会社のコープファームおかやま、 ハートコープおかやまでは、障がい者を雇用したトマト生産をすすめています。

#### 岡山県労働者共済生活協同組合

代表者名 理事長

二宮 卓志

組合員数 16万7114人

出 資 金 11億8723万7900円

契約件数 6万9147件(43万4719件)

契約口数 33万9455 [ (5095万6713 [ )

**給付件数** 1,997件 (2万5619件)

**給付金総額** 1444万5500円 (37億1459万8708円)

活動エリア 岡山県一円

設立登記年月日 1961年4月1日

**役員数**(常勤)2人(非常勤)21人

員数1人(25人)

※( )内は連合会実績

岡川県労働者共済生活協同組合(全労済岡川推進本部)は、営利 を目的としない保障の生協として、岡山県と厚生労働省の認可を得 て事業運営を行っています。

当生協は、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」 を理念とし、組合員の皆さまの「安心とゆとりある暮らし」をめざ した活動を行っています。

これからも、「組合員の全労済」「正直な全労済」「努力の全労済」 を信条とし、組合員のくらしを何よりも大切とし、組合員や地域社 会からの信頼に応え、社会の発展のために行動し、たすけあいの心 を大切にすることにより、全労済に関わるすべての人の満足に向け 努力し続けます。

#### ヤンマー農機製造岡山地区生活協同組合

代表者名 代表理事

世一 寛行

組合員数 393 人

資 金 393 千円

供給高 16,932 千円

活動エリア 職域 (工場内)

設立登記年月日

1965年1月25日

(常勤)0人 (非常勤) 8人 役 員 数

職 **員数**(正規)1人 (定 時) 0人

当生協は新岡山港に程近い、YANMAR 農業機械の総合機械メ ーカーとして 2013 年 4 月に新たにスタートしたヤンマー農機製 造内で活動しております。

組合員数約400名と限られた範囲での活動ですが、組合員の二 一ズを反映した、きめ細かい対応をめざして活動が出来るよう努力 をしていきたいと思っています。

一年間を通じての地域の公園や遊歩道のクリーン作戦も回を重 ね、これからも地域とのつながりを大切にしていきたいと思ってお ります。

#### 津山医療生活協同組合

代表者名 理事長

井ノ上義明

組合員数 5.392 人

出資金 76,667 千円

供給高 375,604 千円

活動エリア 定款区域 (主には津山市と

津山市周辺町村)

設立登記年月日

1980年8月12日

役 員 数 (常勤) 1人

(非常勤) 17人

(監事) 4人 (正 規) 25人

員 数

(定 時) 27人

津川医療生協は、患者・利用者の権利を尊重し、親切でやさしい医 療・介護をこころがけ、地域の人達の命と健康を守るために全力を尽 くしています。

高齢化社会が進み、医療や介護、暮らしをめぐる生活の環境が変わ る中で、診療所・訪問看護ステーション・ケアプランセンター・ヘル パーステーション・デイサービスなど保健・医療・福祉(介護)のネ ットワークをひろげています。

特に在宅診療では365日安心・安全の医療・介護サービスを行っ ています。

また組合員との協同による地域での健康づくりを進めています。



#### (設立期順)

#### 岡山大学生活協同組合

代表者名 理事長

田口 勇仁

組合員数 15,699人

出 資 金 277,740 千円

供給高2,091,847千円

活動エリア 岡山大学津島・

鹿田キャンパス

#### 設立登記年月日

1995年2月20日

役員数(常勤) 2人

(非常勤) 27人

(監事) 4人

**員数**(正規) 21人

(定 時) 165人

#### 概 略

岡山大学生活協同組合は岡山大学の学生・教職員の手によって 1994年12月に設立されました。

大学生協は、大学の福利厚生事業の担い手として、学生・教職員 組合員に良い品をより安く、より便利に提供するとともに、教育・ 研究の場としての大学にふさわしい様々な活動を行っています。

岡山大学では、津島キャンパスのピーチユニオン・マスカットユ ニオン・ピオーネユニオン及び鹿田キャンパス医学部記念会館とい う大学の福利厚生施設の中で、構成員のニーズにもとづいて、購買 ・書籍事業、旅行事業、食堂事業、共済事業、住生活支援事業など 幅広い事業に取り組んでいます。

#### 就実生活協同組合

代表者名 理事長

杉山 慎策

組合員数 1,031人

(2017年11月末現在)

資金 20.560 千円

(2017年11月末現在)

供給高30,417千円

(2016年年度)

活動エリア 就実学園

(現在は、大学・短大キャンパス内でのみ営業)

#### 設立登記年月日

2016年8月5日

**役員数**(常勤) 0人(非常勤) 15人

(監事) 4人

職員数 (正 規) 1人(定 時)29人

#### 略

就実生活協同組合は、就実大学・就実短期大学の学生・教職員が 中心となって設立されました。組合員である学生及び教職員が自主 的に運営に参加し、大学の生活環境を改善・向上させ、学習や教育 及び研究活動をより充実させるために、「学生にとって実りある居 場所づくり」を目標に立て、組合員の皆さんの要望を聞き、その要 望に多く応えられる担い手として、様々な活動を行っています。

現在は、大学、短期大学の福利厚生施設の中で食堂、喫茶、売店、 書店などの事業を行っています。今後も、キャンパスライフの充実 を目指し、教育・研究の支援ができるように事業を発展させていき たいと思っています。



#### グリーンコープ生活協同組合おかやま

代表者名 理事長

堀 早織

組合員数 5.453人

(2017年3月20日現在)

出 資 金 262,181 千円

(2016年度末)

供給高 885,594 千円

(2016年度)

活動エリア 岡山市・倉敷市・赤磐市・瀬戸内市・

総社市及びその周辺地域(共同購入と個配事業)

設立登記年月日 2003年8月13日

**役員数**(常勤)3人(非常勤)17人(監事)3人

員 数 (職 員)16人 (定時職員)16人

略

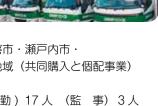
グリーンコープ生協おかやまは、安心・安全な食べものを求め、環 境問題や地域福祉、平和の取り組みなどに関心ある消費者が集まり、 2003 年 8 月に設立しました。

無・減農薬で栽培された青果・農産物や遺伝子組み換えされていな い飼料で育てた畜産物、なるべく添加物を使わずにつくった加工品な ど「いのちを育む食べもの」を、組合員に届けています。また、生産 者やお取引先メーカーとの「顔の見える関係」を大切にすることで、 組合員世帯の食の安全を守るとともに、国内の農畜産業を守っていく 取り組みとして位置づけ進めています。

今の時代、経済と社会不安が大きくなっていく中で、一番大切な事 は「信頼」です。組合員と地域の人々との「助け合っていく。支えあ っていく。」をつくっていくことができる生協を目指して参ります。

#### 県生協連会員生協名簿

会員生協名	住 所	電話・FAX
岡山県学校生活協同組合	〒 703-8258 岡川市中区西川原 255	TEL 086-272-4033 FAX 086-272-4034
三井造船生活協同組合	〒 706-8501 玉野市玉二丁目 5-5	TEL 0863-31-5566 FAX 0863-31-7459
岡山医療生活協同組合	〒 703-8288 岡山市中区赤坂本町 2-20	TEL 086-271-0943 FAX 086-271-7854
倉敷医療生活協同組合	〒 712-8025 倉敷市水島南春日町 13-1	TEL 086-444-4321 FAX 086-448-4150
生活協同組合おかやまコープ	〒 700-0026 岡山市北区奉還町 1-7-7	TEL 086-256-2511 FAX 086-256-2585
岡山県労働者共済生活協同組合	〒 700-0024 岡山市北区駅元町 6-26	TEL 086-254-2155 FAX 086-254-8116
ヤンマー農機製造岡山地区生活協同組合	〒 702-8004 岡山市中区江並 428	TEL 086-276-8111 FAX 086-276-8152
津山医療生活協同組合	〒 708-0872 津山市平福 546-1	TEL 0868-28-2057 FAX 0868-28-3835
岡山大学生活協同組合	〒 700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1	TEL 086-251-7207 FAX 086-256-0445
グリーンコープ生活協同組合おかやま	〒 700-0973 岡山市北区下中野 311-113	TEL 086-805-2566 FAX 086-805-2569
就実生活協同組合	〒 703-8258 岡山市中区西川原 1-6-1	TEL 086-201-2250 FAX 086-201-2259



#### 岡山県生活協同組合連合会紹介



#### 概 況

1959年9月に創立総会を開催して設立された岡山県生協連は、当初17生協の参加でスタートしました。

現在、11 の会員生協に、延べ70 万余世帯の組合員が加入 する県内最大の消費者組織となっています。

購買生協は地域・職域の7生協、医療生協は3生協、それ に労済生協とで構成されています。

生協は、県民の生活の安定と生活文化の向上に努めており、組合員のくらしと地域社会にとってなくてはならない 存在となっています。

代表者名 会長理事 近藤 清志

**会 員 数** 11 生協

会員総組合員数 702,564 人 (2016 年度) 会員総出資金 1,640,884 万円 (2016 年度)

会員総事業高 7,400,131 万円 (2016 年度)

設立登記年月日 1960年3月2日

**役員数**(理事) 13人

(監事) 3人

職員数(事務局長) 1人

(定 時) 1人

#### 役員構成

清志 (員外) 会長理事 近藤 副会長理事 平田 昌三 (生活協同組合おかやまコープ理事長) 副会長理事 武部 吉治 (三井造船生活協同組合理事長) 謙一 副会長理事 谷 (倉敷医療生活協同組合専務理事) 理 事 阿部 孝司 (岡山大学生活協同組合専務理事) 理 事 井ノ上義明 (津山医療生活協同組合理事長) 玾 和泉かよ子 事 (倉敷医療生活協同組合理事) 理 (岡山医療生活協同組合専務理事) 事 和田 博知 理 (ク\*リーソコーフ。生活協同組合おかやま専務理事) 事 佐々木和宏 理 事 上甲 啓一 (生活協同組合おかやまコープ執行役員) 理 事 藤島 文雄 (岡山県学校生活協同組合専務理事) 玾 事 宮本 紀子 (生活協同組合おかやまコープ理事) 理 事 毛利 静江 (三井造船生活協同組合理事) 監 昭洋 (岡山県労働者共済生活協同組合事業推進部次長) 事 青井 監 岡本 秀雄 (生活協同組合おかやまコープ常勤監事) (岡川医療生活協同組合常任理事) 監 事 河本志津恵

#### 岡山県生活協同組合連合会 岡山市北区奉還町 1-7-7 オルガ 5 階

Tel 086-230-1315 Fax 086-230-1317 ホームページ http://okayama.kenren-coop.jp/